

地域包括支援センター名：南湖地区地域包括支援センターれんげ

**試行的実施**

1. 今年度の重点的な取組方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
1-1. 市の方針に即している	3	市の方針に即して事業展開を行ってきた。地域ケア会議関係、認知症対策については概ね達成、総合事業については市との連携により情報収集にあたっている。	4	市の方針に即して事業展開を行っている。地域ケア会議が地域の関係者にも定着してきており、南湖地区における地域ケア会議の在り方、進め方が確立されてきている。	4
1-2. 長期的な視点で見たときの今年度の位置付けを意識している	3	茅ヶ崎市内における地域ケア会議の今後展開を意識し重点的な取組として行ってきた。また介護保険改正、総合事業への移行を意識し重点的な方針としている。	4	関係機関、関係者に丁寧に説明・周知を行った上で、地域ケア会議を開催しているため、順調かつ計画的に実施できている。	4

2. 組織の運営体制の具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
2-1. 組織体制が明確である	3	職員配置や管理体制については、基準を満たしている。相談室を含む包括内における組織体制(管理者と管理責任者の役割の整理)、管理者、管理責任者との報告連絡相談体制も整えている。	4	管理者と管理責任者がそれぞれの役割を明確に果たしている。管理者が包括内の指揮を任ざっておりリーダーシップを発揮している。	4
2-2. 切れ目なく三職種を配置し、業務を継続するための取り組みがある	3	離職等の際に法人として適正な後任職員が配置できるような事前の具体的な取り組みはないが、万一職員交代がある場合には十分に引き継ぎ等を行うことができるよう体制をとっている。	4	離職者を発生させないために、業務のノウハウを持った職員が、新採用職員の育成を重視している。保健師の採用にあたっての努力姿勢が見て取れる。	4
2-3. 適正な職員配置をするための取り組みがある	3	職員の採用から配置に至るまでには、職員の適正等を十分に確認するための面談等を行い、合意の上での配置をしている。また、業務の応じた配置を実施している。また、新任職員の育成ができる体制をとっている。	4	業務に応じた職員配置を実施している。さらに、業務にあたる際は複数対応を行っている。	4

3. 職員間の連携に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
3-1. 三職種の専門性を生かしてチームケア実現に向けた取り組みがある	3	チームケアの実現に向けては、各職種の役割の明確化と相互理解を意識したコミュニケーションをはかり、朝のミーティングや所内ミーティングに於いてその意識を高めることができた。	4	日常業務の中で、専門性を活かしながらも、三職種全員が全業務をできるようにしている。	4
3-2. 職員間の効果的な連携を促進するための取り組みがある	3	職員間の連携の必要性と重要性については意識を持つことができた。担当者不在時の円滑な対応等、チームワーク形成に向けた具体的な取り組みについて意見を出し合い、尽力している。	4	情報をパソコンに記録しており、全員が情報の共有をできている。定例会議では、担当者不在時の円滑な対応等の具体的な取り組みについて意見交換している。	4
3-3. 包括的支援事業の4業務を実施するにあたり、各職種の専門性が生かされている	3	各専門職が4業務にあたり協力体制をとっている。それぞれが専門職の立場から意見を出すことができるようになってきている。各専門職の視点を生かしながら運営できるようにしている。	4	4業務それぞれの担当者を固定せず、全員がすべての業務をできるようにしている。認知症サポーター養成講座は、全員が実施できるようにしている。	4

4. 公正・中立性確保のための具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
4-1. 公正・中立性を確保するための取り組みがある	4	事業所選定においては、アセスメントからその方に適すると思われる事業所を複数紹介・提案、情報提供を行うことを意識し、実践している。事業所選定の理由を明確にし、また偏りのないような選定を意識している。	4	毎月提出される月報から判断して、事業所紹介にあたっては、偏りのないよう取り組んでいる。	4
4-2. 職員に対する意識啓発に取り組んでいる	4	日々の業務において、公正・中立性の確保については意識づけのために繰り返し話しをして共有している。紹介事業所先の集計・分析を半年に一度行っている。	4	日々の業務において、公正・中立性の確保については意識づけができています。紹介事業所先の集計・分析を半年に一度行っていることをヒアリングで確認できた。	4

5. 緊急時対応の具体的方針(災害時含む)					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
5-1. 緊急時の体制が整備されている	3	マニュアルについては整備され、緊急時の職員間での連絡体制については確認、確立されているが、災害時などのより具体的な職員の動きについてミーティング等を活用し、検討を重ねている。	3	マニュアルは整備され、緊急時の職員間での連絡体制については確認、確立されているが、災害時などのより具体的な職員の行動計画を整備する必要がある。	3
5-2. 防災・減災のための取り組みがある	3	地域の防災訓練への参加、南湖地区における防災組織の把握を行った。個別ケースの関わりにおいて火災予防の周知等を継続して行っている。防災について地域ケア会議を通して検討を行った。地域への投げかけを継続して検討していく。	4	地域の防災訓練に参加している。防災について地域ケア会議を通して検討を行っている。	4

6. 個人情報保護に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
6-1. 個人情報保護に関する具体的な取り組みがある	4	個人情報保護に関する研修を実施した。所内において個人情報の取り扱いについて意識を高めるため都度、留意すべきことを共有している。相談におけるヒヤリハット報告作成など実践を行っている。	4	ヒアリング時に、マニュアルの現物確認ができた。施錠管理がされている。	4
6-2. 職員に対する意識啓発に取り組んでいる	4	個人情報の取り扱いに関するヒヤリハット事項について共有して再度意識を高めている。法人内においても共有する機会を持っている。	4	研修等を通じて職員に対する意識啓発を行っている。	4

7. 苦情対応に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
7-1. 苦情対応のための適切な体制が整備されている	4	苦情につながりそうな事項をヒヤリハットとして報告することとしている。苦情対応に対してマニュアルを整備し適切な対応ができるようにしている。	4	ヒアリング時に、マニュアルの現物確認ができた。苦情につながりそうな事項をヒヤリハットとして報告し、管理責任者ともミーティングをしている。	4
7-2. 再発防止のための取り組みがある	4	ヒヤリハット報告、苦情報告を職員間で共有し、再発防止に向けて話し合いを持っている。包括内のみでなく法人職員の会議の際にも報告し再発防止につとめている。	4	再発防止に向けて、包括内のみでなく法人職員の会議の際にも報告し再発防止に努めており、研修も実施している。	4

総合評価(平均点)	3.38		3.94		3.94
-----------	------	--	------	--	------

総合評価(自己) 重点的な課題①地域ケア会議については実施と代表者会議でその成果を報告。地域の中での位置付けなど明確にできた。②介護保険制度改正については情報収集など行ったが、説明、相談対応の部分では漠然とした不安感を明確にするべきという助言を頂き、今後の方針が明確になった。③地域ケア会議についての情報収集や市への集約という部分では情報データの整理方法と市との更なる連携等、次年度に取り組むべき課題が明確になった。④認知症高齢者の実態把握という部分で、相談対応は行ったが、実態把握のための地域へのアプローチや周知については具体的に次年度からの取り組み課題となっている。今後の課題として取り組むことが明確になったという点で成果があったと認識している。事業計画について、職員間で共有、意識し日々の業務にあたってきた。27年度の重点的な取組方針である地域ケア会議の開催については、計画的に実施ができ、南湖地区における地域ケア会議の在り方、進め方を確立し、関係機関に周知をすることができた。

総合評価(基幹型) 地域ケア会議の開催にあたり、三職種の専門性を活かしながら連携し、地域の情報収集を緻密に行っている。また、関係機関、関係者に丁寧に説明・周知を行った上で、地域ケア会議を開催しているため、順調かつ計画的に実施できているものと評価している。その結果、地域ケア会議が地域の関係者にも定着してきており、南湖地区における地域ケア会議の在り方、進め方が確立されてきていると考える。また、ケース対応においても組織としてチームケアを行う体制ができている。緊急時の職員の具体的な行動計画等の整備が必要である。平成28年度については、事業計画どおりに業務を進めると共に、総合評価で取り上げた課題についても取り組んでいただきたい。

運営協議会の意見 緊急時の対応について改善が必要である。職員同士がコミュニケーションを図って、役割を明確にし、お互いを理解して取り組んで。地域ケア会議が開催され、関係機関・団体等で地域でケアを進めていく体制ができている。自己評価点が厳しく、課題意識があると評価できる。

総合評価(市) 地域ケア会議の開催にあたり、丁寧に説明と周知に尽力され、その結果開催状況も順調かつ計画的であることを評価させていただきます。また、職員同士の情報共有や相互理解への取り組みも丁寧で、3職種が専門性を生かす連携し、組織力がより発揮できるよう尽力されていることも評価いたします。緊急時対応の具体的な取り組みにおいては、地域の防災訓練に参加したり、地域ケア会議での検討を行っていただいておりますが、今後、災害時を含めた、より具体的な緊急時の行動計画等を整備していただきたいと思います。

運営状況レベルの内容	評価点
求められる評価基準を満たしており、具体的成果が見られる	4
求められる評価基準を満たしている	3
求められる評価基準を満たしていないが、取り組みは行っている	2
求められる評価基準を満たしておらず、取り組みも行っていない	1